

静岡大スチューデント・アンバサダープログラム



静岡大国際連携推進機構は本年度、国際課題に関心を持ち、社会のために行動できる人材育成を図る「静岡大スチューデント・アンバサダープログラム」を同大で進めている。初年度は静岡、浜松両キャンパスの学生24人が、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に理解を深めている。

プログラムは、一般社団法人「グローバル教育 FTE」(東京都)と協

国際感覚持つ学生育成

学ぶSDGsは英語、会話

力して11月にスタート。学生は英語を使用言語としたオンライン研修を受け、コミュニケーションの取り方やSDGsの基本知識などを学んだ。1月下旬にSDGsをテーマにしたイベントを開く予定で、現在は6チームに分かれ、週1回の会議などを通じて企画を進めている。

参加学生の中には、同大に通う留学生や世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響で留学を断念した日本人学生も含まれている。プログラムは、コロナ禍において学生の国際的な視点を広げる機会を増やすことも狙いの一つとしている。

(社会部・塩谷将広)

オンライン研修で英語でのコミュニケーションやSDGsの基礎を学ぶ学生ら
静岡大静岡キャンパス